

タイトル「**2023年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」  
 シラバスの詳細は以下となります。

 戻る

科目ナンバー	RMGT/SSCS1111		
科目名	文章表現 1		
担当教員	山崎 真紀子		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	木 1		
講義室	1001	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目的位置付け（開発能力）	<p>■ D P コード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連          DP1-D [市民的素養と市民的教養] 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。          DP2-A [日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢] 地球的視点で物事を多面的に捉え、日本の精神文化を理解し異文化との交流の重要性を認識することができる。          DP4-I [表現力・分析力] 文章表現を扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析を円滑に粉うことができる。          DP6-K [表現力・対話力、ライティングコミュニケーション、オーラルコミュニケーション] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>■ C R コード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンループリンク（C R）との関連          A1 文化的自己意識、文化的多様性への理解（10%）          A2 異文化適応、言語的コミュニケーション（10%）          D1 文化的素養、知識の獲得、市民参加のためのコミュニケーション、市民的行動と省察と参加（40%）          I1 内容理解、文理構造の分析、解釈、読者の声（15%）          I2 表現、コミュニケーション（5%）          K1 ライティング・コミュニケーション、目的及び文脈の理解、構成、内容の展開（10%）          K2 オーラル・コミュニケーション、内容の構造化、言葉選び、話しの運び（10%）</p>		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	2進行期～3発展期		
科目概要・キーワード	<p>大学で学ぶにあたって必要とされる文章作成、レポートの書き方を基礎から学びます。主語述語の的確な使用、句読点の効果的な打ち方、原稿用紙の使い方、ワープロソフトの使い方、書式設定、表紙の付け方など基本的事項を踏まえ、レポートを書くまでに至る方法を修得します。本授業は、講義および実習、演習の組み合わせによって行います。講義では、具体例を用いて文章表現の基本的事項や型を説明していきます。実践では各自がパソコンを用いてプレゼンテーション資料などを作成し、大学及びその後の社会生活で役立つ文章の書き方を学習します。そして、学生間での相互批評や教員による助言によって、書いたものを点検していき、文章作成や構成力を身につけます。また、e-learning教材を用いて弱点をみつけ、基礎文章力を強化します。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、または各授業を補完・代替するためのオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p>		

授業の趣旨	<p>■副題 市民生活や、大学生活を送るうえで必要な分析力、表現力を身につける。</p> <p>■授業の目的 アスリートやコーチを目指すうえで競技スポーツに必要な分析力、探求力、表現力、対話力を修得し、市民生活を送るうえで必要な他者理解能力など大学生活を送るうえで必要な能力を身につける。</p> <p>■授業のポイント 大学生活に必要なレポートや論文の作成能力を養成します。文章作成の上で必要な効果的な読点の打ち方や段落の取り方、表紙のつけ方など基礎的な学習から始めます。文章表現能力やプレゼンテーション能力を身につける。</p>				
総合到達目標	<p>■市民的素養と市民的教養を身につけるために、日本語の文法と文章の構造を正しく理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい文法と表記方法で文章を書くことができる。(1~4回)</li> <li>・論理的な文章の構造を理解し、筋の通った文章を書くことができる。(1~4回)</li> </ul> <p>■日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢を身につけるために、日本語・日本文化の理解を深め、さらに他者や異文化との交流を重視する態度を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の語彙を増やし、適切な表現によってわかりやすい文章を書くことができる。(2~14回)</li> <li>・他の学生と相互批評し、意見を交換することができる。(3、4、12回)</li> </ul> <p>■理解力・分析力・表現力・コミュニケーション能力を高めるために、文章を正確に読解・分析し、自らの考えを的確に表現する技能を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して自ら考え、具体的な理由を示してその考えを説明することができる。(2~14回)</li> <li>・レポートやプレゼンテーション資料など実践的な文章を書くことができる。(2~14回)</li> </ul>				
成績評価方法	<p>■アクションペーパー(40%) 授業内の文章作成などの成果物を評価:適用ループリック A1、D1,I1,I2,K2 (フィードバックの方法) 教員による添削</p> <p>■レポート(60%) 総仕上げとしてのレポートの完成度を評価:適用ループリックK1,I1 (フィードバックの方法) 教員による添削</p>				
履修条件	特にありません。				
履修上の注意点	文章表現は、言葉を使って表現していきますので、書物、雑誌、新聞など日常生活の中で「読む」習慣を身につけましょう。				
授業内容	<table border="1" data-bbox="461 1286 1480 1635"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="461 1286 1480 1635">1</td><td data-bbox="461 1286 1480 1635"> <p>①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方などの説明)</p> <p>②授業概要 ガイダンス授業。授業の内容やスケジュール、成績評価の方法。発表の方法。ペーパーの書き方などの講義式授業。(I2、K1、K2)</p> <p>③予習(120分) 自分の関心のある書物を読んでくる。</p> <p>④復習(120分) 書物を読み、ポイントをノートに書いておく。</p> </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方などの説明)</p> <p>②授業概要 ガイダンス授業。授業の内容やスケジュール、成績評価の方法。発表の方法。ペーパーの書き方などの講義式授業。(I2、K1、K2)</p> <p>③予習(120分) 自分の関心のある書物を読んでくる。</p> <p>④復習(120分) 書物を読み、ポイントをノートに書いておく。</p>
	回	内容			
	1	<p>①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方などの説明)</p> <p>②授業概要 ガイダンス授業。授業の内容やスケジュール、成績評価の方法。発表の方法。ペーパーの書き方などの講義式授業。(I2、K1、K2)</p> <p>③予習(120分) 自分の関心のある書物を読んでくる。</p> <p>④復習(120分) 書物を読み、ポイントをノートに書いておく。</p>			
	2	<p>①授業テーマ 文章の書き方の基礎的な事項を確認する。</p> <p>②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、自分の好きなスポーツを主題に置いて、自己紹介文を書いてみる。原稿用紙の使い方、句読点、段落など基本的な事項をおさえる。(I2、K1、K2)</p> <p>③予習(120分) 自分の好きなスポーツについて書いてある書物や雑誌記事を読む。</p> <p>④復習(120分) 自己紹介文について書いた文の推敲をする。</p>			
<p>①授業テーマ 文章を提出し、添削を受けて推敲する。</p> <p>②授業概要 前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、自分の好きなスポーツを主題にして、自己紹介文を書きあげたものを、添削を受けて書きなおす。(A2、I2、</p>					

	K1、K2) ③予習（120分） 自分の好きなスポーツ選手の自己紹介文を読む。 ④復習（120分） 添削を受けた文章を推敲し、書き直す。
4	①授業テーマ 推敲した文章を発表する。 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、自己紹介文を皆の前で発表する。また、発表を聞く側に回った時は、発表者に向けてコメントを書く。（A2、I2、K1、K2） ③予習（120分） 発表のために文章の完成度をあげて、何度も繰り返し朗読する。その際はリズムなども含め文章の流れに留意する。 ④復習（120分） 発表後に流れが悪かったところを修正する。聞き取った際のコメントペーパーを清書する。
5	①授業テーマ コメントペーパーと発表した文章を提出する。次の課題に移る。 ②授業概要 前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、自己紹介文を600字～800字程度にし清書して提出する。主観的文章から客観的文章へと移るプロセスとして、「私のお勧めするスポーツ」を書くためのプランニングを行う。（I1、K1、K2） ③予習（120分） スポーツ選手が書いた書物や自己紹介や自分を語るテーマに関連した書物を読む。 ④復習（120分） 「私のお勧めするスポーツ」の下書きをする。
6	①授業テーマ 客観的な文章を書く試みを始める。 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後「私のお勧めするスポーツ」と題した文章を書く。なぜ、勧めたいのか、その根拠を明確に整理しながら書き始める。（I1、K1、K2） ③予習（120分） スポーツに関連した書物や雑誌を読み、人に読んでもらうための工夫がどのようにされているのかノートに書いておく。 ④復習（120分） 「私のお勧めするスポーツ」の下書きをする。
7	①授業テーマ 客観的な文章を実際に書いてみる。 ②授業概要 前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、「私のお勧めするスポーツ」と題した文章を書くにあたって、パワーポイントで構成を立てる。（A1、I1、K1、K2） ③予習（120分） スポーツに関連した書物や雑誌を読み、人に読んでもらうための工夫がどのようにされているのか、構成に注目してノートにその流れを書く。 ④復習（120分） 授業で行った作業である「私のお勧めするスポーツ」のパワーポイントの構成をチェックする。
8	①授業テーマ 「私のお勧めするスポーツ」の文章を作成していく。 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後「私のお勧めするスポーツ」と題した文章を、パワーポイントを用いて作成する。（A1、I1、K1、K2） ③予習（120分） スポーツに関連した書物や雑誌を読み、文章の力に注目してノートに書く。 ④復習（120分） 授業で行った作業である「私のお勧めするスポーツ」のパワーポイントの文章をチェックする。

9	<p>①授業テーマ 「私のお勧めするスポーツ」の文章と図版を用いて作成していく。</p> <p>②授業概要 前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、「私のお勧めするスポーツ」と題した文章に合う図版や映像をいれて、パワーポイントでプレゼンテーション用の文章を作成する。(A2、D1、K1、K2)</p> <p>③予習（120分） スポーツに関連した書物や雑誌を読み、ビジュアルの力に注目して気づいた点をノートに書く。</p> <p>④復習（120分） 授業で行った作業であるパワーポイントのプレゼンテーション文章、図版、映像などをチェックする。</p>
10	<p>①授業テーマ 「私のお勧めするスポーツ」のプレゼンテーション文章をパワーポイントで完成させる。</p> <p>②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後「私のお勧めするスポーツ」と題した文章、図版、映像をいれて、パワーポイントでプレゼンテーション用の文章を完成させる。(A2、D1、K1、K2)</p> <p>③予習（120分） スポーツに関連した書物や雑誌を読み、人に伝えるための工夫がどのようになされているのか気づいた点をノートに書く。</p> <p>④復習（120分） 授業で行った作業であるパワーポイントのプレゼンテーション文章、図版、映像などをチェックする。</p>
11	<p>①授業テーマ 「私のお勧めするスポーツ」をパワーポイントで発表を行う。</p> <p>②授業概要 前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、「私のお勧めするスポーツ」と題した文章、図版、映像をいれて、パワーポイントでプレゼンテーションする。聞き手に回った際は、コメント用紙に批評文を書く。(A2、D1、I1、K1、K2)</p> <p>③予習（120分） プレゼンテーションの練習と発表用原稿を作成する。プレゼンテーション文章、図版、映像などをチェックする。</p> <p>④復習（120分） コメント用紙の批評文を推敲し、清書する。</p>
12	<p>①授業テーマ 「私のお勧めするスポーツ」をパワーポイントで発表を行う、第2回目。</p> <p>②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後「私のお勧めするスポーツ」と題した文章、図版、映像をいれて、パワーポイントでプレゼンテーションする第2回目。聞き手に回った際は、コメント用紙に批評文を書く。(A2、D1、I1、K1、K2)</p> <p>③予習（120分） プレゼンテーションの練習と発表用原稿を作成する。プレゼンテーション文章、図版、映像などをチェックする。</p> <p>④復習（120分） コメント用紙の批評文を推敲し、清書する。</p>
13	<p>①授業テーマ 「私のお勧めするスポーツ」をパワーポイントで発表を行う、第3回目。</p> <p>②授業概要 前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、「私のお勧めするスポーツ」と題した文章、図版、映像をいれて、パワーポイントでプレゼンテーションする第3回目。聞き手に回った際は、コメント用紙に批評文を書く。(A2、D1、I1、K1、K2)</p> <p>③予習（120分） プレゼンテーションの練習と発表用原稿を作成する。プレゼンテーション文章、図版、映像などをチェックする。</p> <p>④復習（120分） コメント用紙の批評文を推敲し、清書する。</p>
14	<p>①授業テーマ 「私のお勧めするスポーツ」をパワーポイントで発表を行ったものを800字から1000</p>

	<p>字にまとめる。</p> <p>②授業概要 「私のお勧めするスポーツ」と題した文章（図版、映像をいれても可）をレポート形式にする。これまで書いたコメント用紙の批評文を清書して提出する。（A1、A2、D1、I1、K1、K2）</p> <p>③予習（120分） 講義の初回に習った、書き方、段落のつけ方など文章の基本的事項を振り返って、正しい文章の書き方を見ておく。</p> <p>④復習（120分） プレゼンテーションの方法やレポートの書き方を復習する。</p>
15	<p>①授業テーマ これまで行ってきたことを振り返り、主観的文章、客観的文章、人に説明する際に必要なわかりやすい文章の書き方などの要点を修得する。</p> <p>②授業概要 表紙のつけ方、相互に批評し合う力を発表によって養う。これまでの書いてきたもの、発表してきたものを振り返り、書く力や表現する力が身に着いた確認をする。レポート作成の基本的事項を説明することができる。（A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2）</p> <p>③予習（120分） これまで書いてきたものを再点検する。</p> <p>④復習（120分） 主観的文章と客観的文章の違いをノートにまとめる。レポート作成の原則を復習し、確認する。</p>
関連科目	文章表現2（RMGT/SSCS 1112）
教科書	適宜、授業で配布する。
参考書・参考URL	必要に応じて授業時に伝える。
連絡先・オフィスアワー	開講時お知らせします。
研究比率	

戻る